

二五二六番

待^まつらむに 至^{いた}らば妹^{いも}が 嬉^{うれ}しみと 笑^あまむ姿^{すがた}を
行^ゆきてはや見^みむ

二五二七番

誰^{たれ}そこの 我^わがやど来^{きよ}呼^よぶ たらちねの 母^{はは}にこ
ろはえ 物^{もの}思^{おも}ふ我^{われ}を

二五二八番

さ寝^ねぬ夜^よは 千^ち夜^よもありとも 我^わが背^せ子^こが 思^{おも}ひ
悔^くゆべき 心^{こころ}は持^もたじ

二五二九番

家^{いへ}人^{びと}は 道^{みち}もしみに 通^{かよ}へども 我^あが待^まつ妹^{いも}が
使^{つか}ひ来^こぬかも